

# ふるさと交流だより

農村ボランティア  
会員会報

## 新しくふるさとむらに仲間入りしました「曾地中（そうじなか）」です

篠山市曾地中地区は、篠山川にY字型に注ぐ曾地川、四十九川の谷筋に位置し、戸数70戸、人口230名余りの集落です。曾地中農業生産組合が主体となって水稻、黒大豆等を栽培し、週2回元気市を開催しています。また、曾地川、四十九川流域では、ゲンジ螢が飛び舞うとともに、自生しているササユリ、ユキワリイチゲ、キバナノアマナ等貴重な植物が四季折々に咲き、美しい田園風景と相まって人々の心を癒してくれる中山間地域です。

一方、曾地中地区では、過疎化、高齢化がすすみ（高齢化率36.8%）、このままでは、農作業や共同活動を続けていくことが難しくなるのではないかと懸念されました。そこで、曾地中地区は、都市部の人々との交流による集落の活性化を図るため、平成23年、農業生産組合の部会として「ふるさとむら活動」をスタートしました。農作業をはじめとして、集落の行事やイベントに農村ボランティアの参画を募り、地域の活性化づくりに取組んでいます。このふるさとむら活動を通じて都市の皆さまに曾地中の自然、美味しい農産物等を味わい、楽しんで頂きたいと思えます。そして、都会と農村の交流の輪が広がり、ふれあいの絆が深められるように願っています。



特産黒大豆の定植



ボランティアとの交流会



ササユリの自生地

## 平成24年度上期 ふるさとむら活動研修会を開催しました（曾地中地区・鶴居地区）

平成24年6月23日（土）篠山市曾地中地区、6月30日（土）神崎郡市川町鶴居地区において平成24年度上期の農村ボランティア活動研修会を開催し、曾地中27名、鶴居21名の参加がありました。

今回の活動研修会は、前年度、新規に「ふるさとむら」として登録された曾地中地区、鶴居地区において農村ボランティア活動を体験していただくこと、ふるさとむらの活動内容や地域の実情を知っていただくことを主な目的に開催しました。

曾地中地区では、参加者が5~7名ずつ5戸のほ場に分かれて特産の黒大豆の定植作業を体験しました。

また、地区への理解を深めていただきたいと、金谷代表が参加者に対してオリエンテーション、昼食時、ササユリの自生地見学時に、地区の農産物が美味しいこと、それを使った料理のこと、今後参加して欲しい作業のこと、集落内の見所のこと等を熱心に説明・提示されました。

鶴居地区では、リコリス球根掘取り、さつまいも苗の植付、サルビア等の鉢上げや定植作業、イノシシ等の獣害を防ぐためのバッファゾーンの若竹伐採作業を体験しました。特に、梅雨時期で降雨中の作業は、参加者にボランティア活動の厳しさ、地区活動の特徴を強く印象づけました。鶴居公民館で行った意見交換会では、参加者から機械利用による球根掘取り作業やタケノコ取りと竹伐採作業を連動させた作業の計画化・効率化等が提案され、また、藤本区長からは地区が取組んできた集落マップづくりと地域活性化活動や今後参加して欲しい活動内容等が説明・提示されました。

参加者を対象に行ったアンケート結果では、地区登録を希望された参加者がそれぞれ15名あり、両地区とも、継続したボランティア活動に繋がっていくものと期待されます。

— 裏面へ続く —

## 活動研修会実施状況

### ○ 曾地中地区



黒大豆の定植作業



地区の概要説明（於公民館）

### ○ 鶴居地区



雨中の若竹伐採作業



意見交換（於公民館）

## ふるさとむら活動支援バスを活用しています！

ふるさとむら活動支援バス助成制度を利用して、農村ボランティアと手を携えて農作業作業等を実施し地域の活性化に取り組んでいます。

- 平成23年度ふるさとむらバス利用実績 10台 （内訳：地区名・台数・利用期日）
  - ・佐用町西新宿地区 1台（6月16日）
  - ・篠山市真南条上地区 3台（8月4日 8月18日 1月22日）
  - ・篠山市辻地区 2台（10月16日 2月5日）
  - ・丹波市市東芦田地区 4台（11月12日 11月13日 2月26日 3月11日）
- 平成24年度ふるさとむらバス利用実績（24年7月末現在） 4台
  - ボランティアグループ主催のバス利用 2台
    - ・たかすネイチャー 2台（4月12日 5月17日）
  - ふるさとむら主催のバス利用 2台
    - ・篠山市辻地区 1台（6月10日）
    - ・丹波市東芦田地区 1台（6月17日）



西新宿地区除草作業

## ふるさとむら活動支援バスの概要

兵庫みどり公社は、ふるさとむら又は農村ボランティアが、ふるさとむらでボランティア活動を実施する際のバス借り上げ費用に対して助成をしています。

- （1）利用者：ふるさとむら、又は、農村ボランティアグループ等
- （2）利用人数：10人以上
- （3）利用バス：民間の貸切バス
- （4）助成額：①日帰りコース 25千円/1台 ②1泊2日コース 50千円/1台（\*利用後バス会社に支払。）
- （5）利用申込：①ふるさとむらが利用する場合：ふるさとむらは事務局と連携のうえ、バス運行日の2ヶ月前の月末までに申込書及びバス経費見積書を公社へ提出する。  
②農村ボランティアグループが利用する場合：グループは、ふるさとむら及び事務局と連携のうえ、バス運行日の20日前までに申込書及びバス経費見積書を公社へ提出する。

\*詳しくは「兵庫楽農生活センター 都市農村交流バス担当」までお問い合わせください。

**編集・発行** (社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地：〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17

電話：078-965-2651 FAX：078-965-2653

E-mail：koryu@forest-hyogo.jp HP：http://hyogo-rakunou.com/nousonbora/